

不妊治療費等(先進医療)の一部を助成しています

名寄市では、不妊治療における経済的負担を軽減するため、医療保険適用された治療と併用して実施された先進医療(厚生労働大臣が定める不妊治療の技術)に要する費用と交通費の一部を助成しています。

対象者

次の①～④すべての要件に当てはまる方が対象です。

- ①治療期間の初日における妻の年齢が43歳未満である夫婦
- ②夫婦のいずれか一方が、申請時点で名寄市に住所があるかた
- ③夫婦であること(事実婚関係にあるものも含む)
- ④助成を受けようとする先進不妊治療について、他の自治体で助成を受けていないこと

助成内容

治療費：医療保険適用と併用可能な先進医療を用いた「1回の治療」につき、自己負担額の7割とし、35,000円を上限とする。

※「1回の治療」とは、治療計画から「妊娠確認」等に至るまで、または医師の判断等に基づき治療計画を中断した場合を指します。

交通費：自宅から医療機関までの距離(往復分)に応じた基準額に3分の2を掛けた額。1回の治療につき5回までを助成。

申請の手続き

以下の書類をそろえて、1回の治療が終了した日の翌日から60日以内に申請してください。

申請手続きは保健センターへの来所、または右の二次元コードからも申請可能です。

なお、特別な事情等により上記期限内に申請できない場合は事前にご相談ください。



申請に必要な物

- ①名寄市不妊治療費等助成事業申請書
- ②名寄市不妊治療費等助成事業受診等証明書



①②は名寄市ホームページからダウンロードできます。

- ③医療機関が発行する領収書及び明細書
 - ④自宅から通院した医療機関までの経路がわかる書類(GoogleMap等による)
 - ⑤本人確認書類
 - ⑥申請者の振り込み口座の確認できるものの写し
 - ⑦事実婚に関する申立書(必要な方のみ)
 - ⑧戸籍謄本(事実婚関係にある場合または夫婦のどちらかが市外在住の場合)
- ※その他必要に応じて書類の提出を求める場合があります。

令和8年4月から 妊婦へのRSウイルス 母子免疫ワクチン定期 接種を開始しています

RSウイルスは特に小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が、少なくとも1度は感染するとされています。生まれたばかりの乳児は免疫の機能が未熟であり、自力で十分な量の抗体をつくることができません。RSウイルスワクチン(アブリスボ)は、妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができるワクチンです。

対象者

接種日時点**妊娠28週0日～36週6日**までの妊婦

※対象となる方には、妊娠中の保健師との面談時(妊娠24～28週頃)にワクチンについての説明の上、予診票をお渡しいたします。

接種後14日以内に出生したお子さんに関しては、お腹の中にいたときの免疫の移行が十分ではない可能性があります。妊娠38週6日までに出産を予定している場合は医師にご相談ください。

接種費用

無料(名寄市立総合病院での接種の場合)

接種場所

名寄市立総合病院、その他定期通院先の医療機関

※市外通院先医療機関での接種を希望される方は別途手続きが必要です。

詳しくは市ホームページをご覧ください →



■ 休日当番医(急患に限ります)

日付	医療機関	住所	電話番号
5/3(日)	名寄市立総合病院	西7南8	01654 ③ 3101
5/4(月)	名寄市立総合病院	西7南8	01654 ③ 3101
5/5(火)	名寄市立総合病院	西7南8	01654 ③ 3101
5/6(水)	名寄市立総合病院	西7南8	01654 ③ 3101
5/10(日)	あべクリニック	西1南7	01654 ⑨ 7011
5/17(日)	名寄東病院	西6南5	01654 ③ 2188
5/24(日)	片平外科・脳神経外科	大通南3	01654 ③ 3375
	なよろ眼科	大通南7	01654 ③ 0746
5/31(日)	たに内科クリニック	西8南11	01654 ③ 1223

救急医療情報案内：フリーダイヤル 0120-20-8699

■ 子育て保健事業(5月の予定)

日付	事業名
5/8(金)	幼児健診
5/18(月)	股関節脱臼検診
	のびのび親子教室
5/19(火)	乳児健診
5/21(木)	ちびっこひろば①
5/25(月)	計測日※
5/28(木)	ちびっこひろば②

対象者には個別にご案内。

※希望の方は事前に保健センターへ申込。